

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

＜阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-3	○	○	○	○	○	○

＜阿武隈川河口沖K 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	H30.6.4	08:00	08:45	20.1	16.9	砂混シト	5Y4/2	なし	21.5	6.0		
K-3 (下層)				08:22		16.8								

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	H30.6.4	08:00	8.2	2.2	4.5	9.8	4650	30.84	2.2	3	1.9	N.D. (0.0017)	0.0056	—
K-3 (下層)				08:22	7.9	0.7	1.8	3.3	5050	34.12	1.3	4	1.9	0.0014	0.014	0.00081

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
K-3	38.0458°	140.9518°	H30.6.4	08:45	7.7	12	34.2	5.4	5.1	2.698	0.0	0.1	0.1	29.6	56.0	14.2	0.053	2.0	19	190	N.D. (0.13)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	阿武隈川河口 前面海域	—	—	H30.6.4	節足動物	軟甲	エビ	ワケガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	3	0.57	成体	—	—	N.D.	N.D. (0.30)	N.D. (0.31)	—
					軟体動物	頭足	八腕形	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ	1	0.27	成体	—	—	N.D.	N.D. (0.26)	N.D. (0.27)	—
					脊椎動物	硬骨魚	アソウ	アソウ	<i>Lophiomus setigerus</i>	アソウ	2	1.3	未成魚	魚類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.30)	N.D. (0.35)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	アケメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	3	0.36	成魚	エビ類	内臓除去	0.39	N.D. (0.37)	0.39	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	ホホウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ	8	2.3	成魚	カニ類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.25)	N.D. (0.29)	N.D. (0.016)
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	1	0.66	未成魚	不明消化物	内臓除去	N.D.	N.D. (0.38)	N.D. (0.33)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes herzensteini</i>	マガレイ	2	0.63	成魚	不明消化物	内臓除去	0.40	N.D. (0.37)	0.40	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Eopsetta grigorjewi</i>	ムシガレイ	6	0.63	未成魚	不明消化物	内臓除去	N.D.	N.D. (0.35)	N.D. (0.28)	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	イシナギ	<i>Stereolepis doederleini</i>	オオクチイシナギ	3	0.45	未成魚	魚類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.39)	N.D. (0.39)	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハセ	6	0.074	未成魚/成魚	—	—	1.7	N.D. (0.75)	1.7	—
脊椎動物	硬骨魚	フグ	カワハギ	<i>Thamnaconus modestus</i>	ウマツラハギ	1	0.080	未成魚	不明消化物	内臓除去	N.D.	N.D. (0.76)	N.D. (0.84)	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。